

防止の観点から中止となりました。

④ クリスマス行事

12月に開催予定の、寿地区自治会との共催によるセンター1階でツリーの点灯式は中止となりました。

⑤ 大・豆まき大会

1月から2月に、寿地区自治会との共催によりセンター広場で開催予定の豆まき大会は中止となりました。

(7) センターまつり事業（公益目的事業1）

例年11月にセンターまつりを実施しています。新型コロナウイルスの感染拡大状況から令和2・3年は中止しましたが、4年度からは再開することができ、5年度も500人を超える来場者で賑わいました。あわせてセンター登録団体などの出展作品による「ことぶき作品展」を実施しました。

(8) 施設維持管理

センター利用者の方々に安心・安全に施設を利用していただくために施設の維持管理等を行いました。

① 建物清掃・管理関係

建物清掃、人的警備、機械警備、電気設備管理、電気保安点検等

② 各種設備点検・整備等関係

消防設備、空調設備、昇降機、自動ドア、受水槽類清掃委託
貯水タンク類保守、衛生害虫駆除、浴場水質検査

(9) センター運営協議会の開催

センターの運営をより効果的かつ地域に密着したものとするため、地元委員、関連施設委員、行政関係者による運営協議会を開催し、意見交換を行いました。

- ① 開催日 12月12日
- ② 会場 センター2階会議室
- ③ 出席者 委員19人 事務局4名
- ④ 内容

令和4年度センター事業報告、ことぶき協働スペース運営事業について
令和4年度の取組みと成果・課題、令和5年度センター事業計画、ことぶき協働スペース2023年度事業計画、質疑と意見交換

4 横浜市寿生活館の管理運営（公益目的事業3）

令和3年1月に、横浜市から第4期(令和3年度～令和7年度までの5年間)の指定管理業務を受託し、住居のない方及び地域住民の方の福祉の向上を目的に、生

活相談支援を行う他、地域活動や交流の場として多くの方の利用に供しました。運営に当たっては、地元代表、学識経験者、行政等で構成した寿生活館運営委員会と協議のうえ管理運営を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策では、利用者に検温、マスクの着用、手指の消毒などの御協力をお願いしています。

(1) 寿生活館運営委員会の開催

開催日 2月15日
 会場 生活館2階会議室
 出席者 委員8名、事務局5名
 内容 令和4年度事業報告及び収支決算報告、令和5年度事業計画及び収支予算、生活館3階の用途について、令和6年度予算に関する要望事項

(2) 事業内容

① 施設の管理・運営

【3階】

ア 児童ホール

地区内外の児童のため、積み木、跳び箱、マット運動、卓球等の遊びの場を提供しました。

開室日	令和5年4月1日～5月31日
延利用者	1,229人

イ 女性子ども室

女性及び子ども達の交流を目的に、テレビ観賞、読書や会話を楽しむ場を提供しました。また、おやつやパンづくり等の利用に供しました。

開室日	令和5年4月1日～5月31日
延利用者	898人

ウ 児童図書室

各種図書1,700冊を備え、読書の場を提供しました。その他にも工作やゲーム等を楽しむ場を提供しました。

開室日	令和5年4月1日～5月31日
延利用者	810人

※ことぶき学童保育が令和5年5月末で事業を終了したため、学童保育としての利用は5月までで終了しています。学童保育閉所後の用途について、生活館

条例・基本協定や地区の意向を踏まえて横浜市健康福祉局援護対策担当と協議を行い、令和6年度以降は貸出施設として利用する方針を定めました。

【4階】

エ 会議室

地域の各種団体の打合せ、野宿者パトロール団体の準備等の利用に供しました。

利用時間	午前9時～午後9時（土日は午後5時まで）
利用回数	48回
休室	月曜日、祝日および12月29日～1月3日
延利用者	287人（1回平均6人）

オ 集会室(娯楽室)

液晶テレビ1台を設置し、地域住民・施設利用者の憩いの場・交流の場としての利用に供しました。

開室時間	午前9時～午後9時（土日は午後5時まで）
開室日数	296日
休室	月曜日、祝日および12月29日～1月3日
延利用者	32,600人（1日平均110人）

カ 洗濯室

全自動洗濯機3台、ガス乾燥機2台を設置し、自由な使用に供しました。

開室時間	午前9時～午後9時（土日は午後5時まで）
開室日数	296日
休室予定	月曜日、祝日および12月29日～1月3日
延利用者	19,428人（1日平均66人）

キ シャワー室

ガス湯沸機2台、シャワー器2台を設置し、自由な使用に供しました。

開室時間	午前9時～午後9時（土日は午後5時まで）
開室日数	296日
休室	月曜日、祝日および12月29日～1月3日
延利用者	19,912人（1日平均67人）

ク 湯沸室(炊事場)

流し台1台、調理台1台、ガスコンロ2台を設置し、施設利用者の台所として自由な使用に供しました。

開室時間	午前9時～午後9時（土日は午後5時まで）
開室日数	296日
休室	月曜日、祝日および12月29日～1月3日
延利用者	22,086人（1日平均75人）

② 利用者交流事業（えがお倶楽部）の実施

生活館利用者の交流の場としてスタートした「えがお倶楽部」の事業の一環として、生活館利用者のお楽しみ会を利用者の方々と相談して、事業内容を決めて実施しました。

事業区分	プログラム名	年間実施回数(回)	延べ利用者(人)
利用者交流会事業	・えがお倶楽部（お楽しみ会）	4回	105人

③ 高齢者事業及び文化事業の実施

高齢者事業及び文化事業は、参加者が楽しみながらコミュニケーションをとれるメニューを工夫し、地域の中の居場所のひとつとして、または社会参加活動の場として、気軽に参加できるようにしました。

【交流事業及び高齢者・文化事業の実施結果】

事業区分	プログラム名	年間実施回数(回)	延べ利用者(人)
高齢者事業	囲碁・将棋の日	10回	298人
	アレンジボウリング	13回	234人
	映画クラブ	12回	193人
	お花見	1回	23人
	輪投げの時間	12回	216人
文化事業	ことぶき作品展	1回	680人

④ 施設の維持管理

利用者の方々に安心・安全に施設を利用していただくため実施しました。

【設備点検清掃等関係】

清掃、簡易専用水道検査、貯水槽洗浄および水質検査、一般廃棄物処理
消防用設備、ガス乾燥機保守、害虫駆除等

【修繕工事】

3階女子トイレ交換工事

5 仕事チャレンジアシスト事業（公益目的事業4）

中区役所から受託している事業で、中区の生活保護受給者等の方々に対し、生活リズム、勤労意欲の維持・向上のため、就労体験や地域貢献事業及び生活・社会面の講義などのプログラムを実施することで、就労意欲を喚起し、「仕事チャレンジ講座」への受講が可能かの見極めを行いました。

また令和4年度に引き続き5年度も、介護資格を取得することができる「生活援助従事者研修」を10～12月に開講しました。6人参加 4人修了

[仕事チャレンジ講座]

社会福祉法人神奈川県匡済会が中区役所から受託し、実施している事業。自立のために就職や増収を目指している生活保護受給者及び生活困窮者の方を対象に、2か月間講座の中で、生活訓練・社会訓練・技能習得訓練を行っています。

(1) 業務内容

① 清掃活動

地区内（道路、公園、公衆トイレ、施設等）清掃、粗大ごみ収集等

② 修繕等

交流センター、生活館など施設内備品等

③ 座学

教養プログラム、介護資格取得研修

(2) 実施日数

① 事業実施日 月～金曜日の午前9時～正午

② 延日数 243日

(3) 延べ参加者数 1,078人

(4) 就労等支援等実績 15人

就労9人、仕事チャレンジアシスト事業4人、寿交流サポート事業2人

6 寿交流サポート事業（公益目的事業4）

中区役所から受託している事業です。令和4年度からはそれまでの生活保護受給者・生活困窮者が中心の「寿いきいきライフ事業」から、高齢者・障害者も対象とした「寿交流サポート事業」に事業が変わりました。

主に寿地区に居住し、中福祉保健センターにて生活保護を受給している方及び生活困窮の方を対象に、屋外の清掃等、地域貢献に取り組む活動支援プログラムを通して、生きがいを持ち健康の維持増進につながるよう事業運営しました。また、会での活動を通じて人との関わりを持ち、日常生活でも心豊かで落ち着いた生活を送れるよう個々の参加者に寄り沿った支援・運営を心掛けました。

(1) 業務内容

① プログラム

- ア 社会性を身につけるための活動
- イ ボランティア活動
- ウ その他福祉保健センター長が必要と認めるもの

② 事業者開拓等

- ア ボランティア受け入れ事業所の開拓
- イ 自治会など地域における支援者ネットワークの形成

(2) 実施日数

- ① 事業実施日 月～金曜日の午前9時～正午
- ② 延日数 243日

(3) 延べ参加者数 1,669人

7 地域福祉保健推進事業

高齢化が進み、単身高齢者の方が多く居住する等の地域特性を踏まえ、地区内の誰もが安心して健やかに暮らし、自立が促進され、お互いに支えあい交流できるまちづくりを目指して、地域福祉保健を推進する各種事業に取り組みました。

(1) 地域福祉保健事業

① 寿地区障害者作業所等交流会及び実務者連絡会

寿地区住民が利用する地区及び周辺の就労継続支援B型事業所及び地域活動支援センター地域作業所が、それぞれ抱えている共通の課題や事業展開などについて意見交換、ネットワークづくり、相互の活動発展に寄与する場として交流会を開催しました。

また6月からは月1回各作業所の実務担当者の集まりを始めました。

(3 (2) 健康コーディネーター室の③のアの再掲)

ア 開催回数 交流会4回(4月、7月、10月、1月)
実務者連絡会12回

イ 参加団体

21事業所(中区福祉保健センター・市社協・寿福祉プラザ相談室・中区地域活動ホーム)

② 寿地区簡易宿泊所管理者情報交換会

簡易宿泊所管理者に、主に宿泊者の健康上の課題、管理者としての悩みなどを意見交換する場として情報交換会を開催しました。 12月 4事業所

③ 年末特別対策

年末特別対策として、住居のない方及び簡易宿泊所居住者等のために、寿生活館を利用に供しました。

- ・ 期間

12月29日～30日 午前9時～午後9時

12月31日 午前9時～午前0時

- ・ 3日間延利用者数 827人（1日平均 275.7人）

④ 年末結核検診

年末年始に住居のない方へ宿泊場所を提供する「寿地区年末年始対策事業」を利用する方を対象に実施する、結核検診事業を横浜市から受託し、実施しました。12月28日 利用者7人

(2) 広報事業

① 広報紙『いぶき』の発行

『いぶき』を毎月1回(25日前後)発行し、地域住民及び関係機関団体に当協会事業及び地域情報をお知らせしました。『いぶき』は当協会ホームページにも掲載しています。

- ・ 発行部数 年間9,600部(月800部)

- ・ 配布先 170か所(寿地区内及び周辺の公共施設・事業所・店舗・簡易宿泊所、関係機関等)

② ホームページ内容の充実、X（エックス 旧ツイッター）による情報発信

センター開設に合わせ、内容を見直し、効果的かつ、当協会の事業及び寿地区に関する情報をタイムリーに掲載しました。またイベント情報をXにより発信しました。

③ センター紹介用パンフレットの発行

センターの開所、法人名の変更を広く周知するため、センターの施設機能を案内するパンフレット及び団体紹介パンフレットを発行しました。

④ 事業概要『あゆみ』の発行

事業概要『あゆみ』を発行し、令和3年度・4年度の協会事業や寿地区での取り組みについて発信しました。

(3) センター内の事業所等（指定管理外）との連携

① 横浜市ことぶき協働スペースとの連携

センター2階の横浜市ことぶき協働スペースの運営を横浜市から受託する事業者と共に、地区内外の各種団体及び事業者等と連携して、各種事業や地域支援を行いました。

- ・ 講座；スマホ練習会 12回 82名・ポップアップカード制作 4回 46名
- ・ 簡単プログラミング 2回 9名
- ・ イベント；センターまつり・ことぶき作品展・ブックフェスタでの協働
- ・ 地域支援；防災・減災アンケートの実施

※「横浜市ことぶき協働スペース」の業務内容

- ・ 寿地区内外の各種団体及び事業者等と進める寿地区のまちづくり・地域支援に必要な取り組みの創出等に関する事業
- ・ 寿地区内外の団体等の連携と交流の推進に関する事業
- ・ 寿地区におけるボランティア活動の促進に関する業務
- ・ 寿地区の情報集及び地区内外への発信に関する事業
- ・ 寿地区の調査研究に対する支援に関する事業

（「横浜市ことぶき協働スペース運営事業委託」業務説明資料より）

② 市営住宅（寿町スカイハイツ）との連携・交流

センターの3階から9階までの市営住宅の住民団体及び指定管理者と防災に関することや催事を通じて、相互の連携や交流を図りました。

(4) 地域連携事業

事業実施主体の事務局として、または協働実施団体として、地域のコミュニティ活動や行事について、地域組織と連携して継続的な実施を計画しましたが、感染拡大防止の観点から多くの事業が中止となりました。

① ことぶき花いっぱい運動

「ことぶき花いっぱい運動サポーターの会」主催の寿地区内の清掃活動に参加し、月2回、主に中村川沿いの道路清掃（亀の橋～車橋間）を行いました。

② 七夕祭り

例年7月、寿地区自治会との共催により寿公園で実施していましたが、感染拡大防止の観点から中止となりました。

③ みんなの運動会

例年11月、ことぶきゆめ会議主催による「みんなの運動会」が開催されていましたが、感染拡大防止の観点から中止となりました。

④ 寿大賀詞交歓会

例年2月上旬、実行委員会主催「賀詞交歓会」が開催され、地域の自治会や関係機関団体、事業者、行政など多くの参加者の交流の場となっていましたが、感染拡大防止の観点から中止となりました。

(5) 地域協力事業

地域の関係団体が協働して取り組む事業に協力し、地域住民の活動や生活を応援しました。

① ことぶき夏祭り

実行委員会主催による寿夏祭りは、物故者供養のみセンター広場で開催されました。

② ことぶき冬まつり

例年、年末年始に寿生活館及び寿公園をメイン会場として、地域関係団体やボランティアの方々による「ことぶき冬まつり」が行われていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に対応して、年越しそば・餅つき・カラオケ大会などは中止し、炊き出しを行いました。

(6) 行政との協働事業

① 寿地区健康診査（結核及び生活習慣病予防）事業

（3（1）診療所の【診療所での診療・相談以外の事業】の再掲）

中福祉保健センター主催の胸部レントゲン検査などの結核検診（年2回予定）に協力するとともに、センター診療所では生活習慣病の健康診査（無料）を実施しました。（6/28 50人、10/27 42人）

② 年末結核検診事業

（同上再掲）

横浜市援護対策担当が住居のない生活困窮者に一時宿泊所を提供する「寿地区年末年始対策事業」の一環として結核検診を行いました。（12/28 7人）

③ ホームレス相談・支援事業

診療所で、自立支援施設はまかぜの入所時健診及び診療を行い、市の生活困窮者支援事業に協力しました。また月1回、行政の実施する路上生活者夜間巡回に参加し、健康コーディネーター室の利用や診療所受診につなげました。

10人参加

④ 地域のまちづくり推進組織支援

寿地区には、超高齢化への対応、防災の他、不法投棄などの環境問題、路上駐輪の交通問題、衛生問題、防犯問題など様々なまちづくりの課題があり、地域、民間団体機関、民間事業者、行政が協働して取り組まないと解決は困難です。地区内には、二つの地域横断的な組織が地域のまちづくりに重要な役割を果たしています。当協会は、それらの推進組織の事務局を、健康福祉局寿福祉プラザ相談室及び中区福祉保健センターと協働し担い、まちづくり

に取り組んでいます。

ア「寿プラザ地区地域防災拠点運営委員会」

現在、最も幅広く地域の関係団体機関、事業者、行政が結集して、防災・減災等を中心に様々のまちづくりの課題に取り組んでいます。

1回 訓練 10/17

イ「寿地区地域福祉保健計画推進委員会（愛称「ゆめ会議」）」

地域の関係機関団体、事業者、行政が参加し、地域における生活課題を中心に話し合いを進めながら、寿地区における地域福祉保健計画の策定、課題解決に向けた取り組みを進めています。 12回参加

8 人材育成

人材こそが最も重要な経営資源という考え方を基本に、人材育成計画を定め、人材育成の柱となる研修を計画的に実施しています。

全体研修では、協会の使命・役割などを理解し、人権に配慮した対応をおこなうための人権研修やパワハラ研修、救急指導研修等を実施しました。

また、協会職員が各分野で必要とする専門性・実務能力を育成するため、行政等で開催される研修についても、関係職員を派遣し、幅広い知識の吸収と業務の質的向上につとめました。

研修の実績

項 目	内 容	参加
【協会主催研修】		
(全体研修)		
①人権研修（4月 4回開催）	様々な視点での人権に関する問題を取り上げた教材の視聴と感想・意見の提出	19人
②パワハラ研修 （10月3回、2月3回）	10月；パワハラに関する理解と対応 2月；グループワークによる事例検討 （労働プラザ職員による外部講師研修）	44人 33人
③救急指導研修（6月 2回）	心肺停止時の対応 （AED 使用法・胸骨圧迫、救急隊指導）	31人
④危機管理研修（1月）	福祉相談における危機管理	6人

【外部出張・参加型研修】		
① 法人会計セミナー（5月）	法人会計の基本	2人
② 精神障害への対応（5月）		2人
③ 心不全診療連携（7月）	心不全診療ガイドラインに基づく症例	1人
④ 自殺予防対策（8月）		2人
⑤ インボイス対策セミナー（8月）	インボイス制度導入直前対策	2人
⑥ アルコール依存症回復セミナー（11月）	アルコール依存症自助グループ回復セミナー	1人
⑦ 結核の最新情報（11月）	結核の最新情報	1人
⑧ 腎性貧血について（12月）		
⑨ 災害医療支援（2月）	医療職向け	1人
⑩ アルコールWEBセミナー（2月）	アルコール依存症の改善について	1人
⑪ 公益法人の決算実務（2月）	公益法人特有の決算実務について	1人
⑫ 自殺予防対策（2月）	アルコールとうつ、希死念慮対応	2人
⑬ 糖尿病患者対応（2月）	糖尿病患者へのスキンケア	4人

II 経営の方向性及び協約

横浜市の「特定協約団体マネジメントサイクル」により、令和元年度から5年度までの5年間の期間として「経営の方向性及び協約」を横浜市と協議の上作成し、経営のさらなる向上を図りました。

1 協約の取組概要

寿地区は、直近の調査による高齢化率が52.8%となるなど寿町総合労働福祉会館建設当時（1974年）の日雇い労働者の街から、高齢者が多く住む健康づくりや介護予防など福祉ニーズの高い街へと変化し、団体に求められる役割や事業の展開も変化してきました。

こうした寿地区の住民等の福祉の向上を図るため、過去から現在までの状況を把握し、蓄積してきた経験やノウハウを生かし、地域と連携した福祉、医療、介護予防、健康づくりなど住民への包括的支援、生きがいくくり、社会参加、自立支援を行っていくため次の取り組みを進めました。

- 寿地区を中心とした市民への保健医療の提供、健康づくり、介護予防等の事業を行い、地域福祉の向上を図ります。
- 多くの住民が1室平均3畳という住宅事情の中で日々を過ごしており、生

活の質の向上が課題であるため、様々な活動の場への参加を高め、社会参加・生きがいをづくりにつなげます。

- 公益的事業の継続のため、協会が行う事業（診療、浴場事業等）の収入増加を図り、安定した経営を維持します。
- 提供するサービスの質の向上を図るため全職員が組織目標を共有して、意欲的に働くことができるよう人事制度等の改善を図ります。

2 協約期間の主目標と実績

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、施設の閉館や、事業の中止等の影響により、一部未達成となりました。

(1) 公益的使命の達成に向けた取り組み

① 健康・介護予防・普及啓発活動の充実

令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
講座等の参加人数 750人	講座等の参加人数 634人	講座等の参加人数 800人	講座等の参加人数 878人

② 健康コーディネーター室支援対象者数の拡大

令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
支援対象者数 400人	支援対象者数 499人	支援対象者数 450人	支援対象者数 603人

③ 諸室の利用者人数

令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
利用者数 123,000人	利用者数 112,890人	利用者数 127,000人	利用者数 122,059人

④ 寿地区住民を主な参加対象とした社会参加・生きがいをづくり

令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
事業参加者数 950人	事業参加者数 4,419人	事業参加者数 1,000人	事業参加者数 5,010人

(2) 財務に関する取り組み

事業実施による収入の増加

令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標	令和5年度実績
事業収入 153,000千円	事業収入 188,610千円	事業収入 155,000千円	事業収入 181,654千円

(3) 人事組織に関する取組

① 人事組織体制の見直し

令和4年度実績	令和5年度実績
人事考課制度の継続 実施	継続実施

② 業務の改善・効率化提案 表彰制度の導入

令和4年度実績	令和5年度実績
制度制定	制度改定検討

③ 内部研修年間開催回数

令和4年度実績	令和5年度実績
14回	25回